



戦争がない世界へ

長濱 日菜

この前、私はニースを見に行った。今年で終戦七十六年目を迎えるという事を知りました。沖繩戦の事は、学校の授業やテレビなどで見たりして、何名の犠牲者が出たとかがあり、詳しくは分かりませんが、土地のうほい合いや小さな嫌がらせなどから始まり、武器を使っている人だけでなく、とも怖いこととは分かります。

今は、日本では戦争が行われてはいませんが、世界のどこかしらで自爆テロ、空爆、戦争などでたくさんの命が奪われていることを知りました。もし、また他の国から日本がねらわれると考えると、とても怖くなります。た。私はとても不思議に思っています。沖繩が唯一ねらわれたのが疑問に思いました。調べてみると、太平洋の島々を奪った米国は、沖繩を次に占領して、日本本土を攻めるための基地として、沖繩を使おうと考えました。

読谷中学校 2年



れに對し日本は日本本土に攻め込まれたら困
ると考元時間をかせぐため持久戦の作戦を
たてたため神繩がなせねられたのか分
かりました。当時、人ほどうして命をかけた
ま下争わなければいけなか。たのでしようか。
相手の国が悪い国と学校などでも教え込まれ
十七歳に達した成人男子は全員徴兵検査を受
けなければならなかりたりと。とても恐ろし
く感じました。私は戦争の無い平和な日本
に生まれ、今まで一度も命の危険などを感じ
ることかなく生活をしてきました。か、世の中
には、そうではない人もたくさんいます。毎日
生きるため精いっぱい働いている子供がいます。
今ふつうに生活していることも全一あたりま
えではありません。今もどこかで必死に生き
ている方の方が、毎日幸せに生きている人よ
り多いかもしれません。戦争をすることがい
けない事だというのは、みんなが知っています
す。しかし、何でも戦争をして物事を決めよ
うとして、いる人がいる限り、戦争もなくなら



ました。学ばば平和の大切さを訴えていけま
す。今私たちにできることを考え、伝えてい
きたいと思えます。